磐城日日

発行所
磐城日日新聞社
福島縣石城郡小名浜町諸廻五一
電話代表三八七番 二一九番
振替仙台31,355番
編集兼発行人 長瀬芳郎

小名浜町會續報

違約料をとれば無理
二中完成が先決問題
何時も狙わる町長一任

第二號議案小名浜町消防職員定數條例設定の件は消防團員の減員各部幹部の減員等を決議、是に伴う人件費の節約から機具類の補充強化に當てんとし、先づ

金澤議員　現在小名濱消防ポンプは二台が殆んど用を成さない狀態にあると聞く、毎年三十萬圓位予算に計上すれば五年毎に新しい自動車ポンプの補充がつく宜敷しくとの樣な構想の下に消火設備に萬全の措置を講ぜられたい

次いで二中建築をめぐる請負者作山組の建築問題を討議

作山組の百五十萬圓擔保に伴う家屋並びに自動車の担保物件に對し

立花議員　買收價格を町長に一任とあるが、不合理極るものである、作山の家は殆ん老朽狀態にあり加うるに居住者が現在は利用しているので商品價値は極めて薄弱である、斯かる問題を愼重檢討せず單に町長に一任することは無暴も甚だしい

金澤議員　從來の町議会の在り方としてこの樣なことは慣例となつている、然も總務委員会も適正價格として認めているではないか、斯うした事は委員長の報告を信用して處理すればいゝことではないか

立花議員　慣習は慣習でよろしい然し乍ら時と場合に依つては、慣例必ずしも是とすべきでない、特に同問題の如き仮令慣例を破つても愼重檢討すべき性質の問題ではないか仮りに總務委員会が認めた適正價格が議員全部の納得のいく價格であるかどうか何れにしろ、斯かる重要問題を町長一任と輕く押しやることはおだやかでない、民主議会の在り方はすべてを硝子張りの中に解放すべき性質のもので仮令慣例であつてもいけないととは即刻改正すべきである

菅原議員　立花氏の言は余りにも主觀的である、同評價問題は加美山技師の檢討に基づき作成されたもので、單に委員が勝手に評價したものではない

立花議員　作山組が眞に二中建築に對して良心的措置を取つたかどうか疑わしい、眞に同人に責任觀念を持たせる爲に、遲延に對する規定の制裁を加うべきが至當である、遲延違約料いわゆる延滯違約金はどしどし徴收して作山組の眞の反省の資に供すべきだ

小野(務)議員　作山組に只今直ちにその延滯違約金を即納せよということは工事を中止せよということに等しい、兎も角われわれは学校を建てさすことに全力を注がなくてはならない

違約金を取るべきは当然であつて、そのことは未だ容赦するとか何等町會で決議してないので当然とつてもいゝんだ

たゞその時期に於てわれわれは考慮しているんであつて、とも角も学校を何でかんで建てるということが先決問題ではないか

斯くて立花、小野(務)、金澤の各議員間に、從前のトリオ友誼と腐れ縁にヒビが入るかに見えたが狐と狸の論理には黒白が期し難く表面に現われた言辭のみを以てすれば立花議員の主張に一日の長あり、小野、金澤兩議員の言は常識的であり混沌たる審議の中にとも角も學校だけは建てさせようと言う意見に、怪しいながら意見の一致をみた

二小講堂上棟式
完成は七月下旬の見込

小名浜町第二小学校講堂は予算三百三十五万をもつて去る四月二十四日より小名浜町後宿野口繁氏請負のもとに着工され、工事も順調に進捗して十五日午後二時より水野町長、加美山技師等町会議員、長瀬PTA会長參列のもとに上棟式を擧行した

全講堂は木造二階一部吹拔の平家建で本館は百六十八坪、それに二十五坪半の附屬家屋を併置して外部はモルタル吹付けのモダン建築で完成は七月末の予定である

縣土木委員
視察に來町
土木認識は先づ現地踏査から、と縣内初巡視中

の縣土木委員渡邊鉄太郎、小野義一の正副委員長等七名は十七日夕刻小名浜着、同日は海浜の涼を滿喫して小名浜一泊十八日港灣その他主要機關を歴訪する

なほ平、植田土木監督所管内の草野、四倉、夏井、高久、豊間、江名、泉、渡邊、植田、勿來、湯本、内郷、平を視察する筈

精勤教員を表彰
小名濱教育會總會開催

小名濱教育会總會は十二日午後三時半より第一小學校講堂に於て開催次の表彰式を擧行した

永年勤續者▽二十四年増子銀二（二小）▽二十一年小松藤治郎（一小）▽十八年高木長年（一小）▽十七年作山敬一（一中）▽十六年高木セイ（一小）▽十五年比佐正吉（一小）

二十五年度精勤賞

▽第一小學校
高木セイ、小林喜代子、比佐正吉、佐々木フミ、小松藤治郎

▽第二小学校
山田治江、佐藤スワ子

▽第三小学校
門井保、中山フミ

▽第一中学校
若松正、高木源次

▽高等學校
高萩精玄、新井捷夫、諏訪元、山崎敏子

▽水産高校
安達新、高萩文夫、峰川光生

なお会長、副会長任期滿了のため改選の結果会長には高木長年氏が重任副会長に鈴木孝雄、草野道平の兩氏が選任された

連合PTA
役員決定

石城郡連合PTAでは十四日午前十一時より小名浜第一小學校に會長安田善一、副會長金成源右ェ門、仝渡邊三平の諸氏參集して組織部門の役員委囑するため人選の役員会を開催次の通り決定した

◎總務部長坂本朋之（内郷）副部長鈴木孝雄（小名浜）仝大平勳（小名浜）

◎敎化部長高木德良（高久）副　鹽光雄（湯本）副　渡邊金一郎（大浦）

◎厚生部長植田瀧藏（好間）副　茶はら梅雄（川部）副　松崎太一（合戸）

◎庶ム小松藤治郎（小名浜）高木セイ（小名浜）

◎会計椎名馨（小名浜）仝齋藤正一

江名信組の再建決る
町と底曳組合より出資

倍額増資案を掲げて甦生の第一歩を踏み出した江名信用組合は去る十二日町会にて從來空文化していた町金庫の契約が再確認されると共に五十万円を新らたに町より出資する案が決議され、江名中ノ作兩底曳組合から二十五万円宛の出資を受け愈々再建の途につくことになり箱崎新專ム理事に對する一般の期待は極めて大なるものがある

湯本校長會
二小新設等審議

湯本町内校長会では十二日午後一時公民館に參集し町内別兒童數の調査を行い予算、場所等を再検討することになつた

なお同町では入學兒童人口推定調べによると二十九年頃から年々增加する見込なので二十七年度までには着工しなければ理想學級の編成はむずかしいといわれている

勞働委員も
十九日來る

縣勞働常任委員一行六名も十九日小名浜町の勞働狀況並に失對事業視察をなし日本水素工場にて勞資懇談会を開催する、なお當日は湯本町の失業對策事業視察、二十日には植田職業安定所分室並に勿来町の失業対策の就勞狀況をみて、大日本炭礦勿來礦に勞資の懇談会をなす

辯論大會四等入賞
青少年よりみた
「小名浜町の淨化」

一中一年　松本保正

私達学生は毎日一生懸命に勉強することも、また町の淨化ということも、私達学生の務めの一つだと思います、人間として悪くなるのも良くなるのも中學に學んでいる時代が一ばん大切だと思います、との時代に学んだ結果の良し悪しが直接間接的に町を良くしたり或は悪くしたりするといつても言い過ぎではないと思います、然し現在の小名浜町を眺めた時に、血なまぐさい事件やその他の色々の事件が起り、私達でさえ歎くような有樣です

特に少年の犯罪の多いことは私達学生の恥といわねばなりません、無心な少年が犯罪を犯すのは何が原因なのでしょうか、時代が生んだ社会悪も見逃せないのであります、それを私達學生の手で一日も早く無くして、大小名浜町の建設を目ざし明るい住みよい町にするよう私達青少年が協力しなければならないと思います

私が今までに小名浜町の淨化について考えたことを參考までにお話致し幾分でも淨化に役立つところがあるとすればこの上もないことゝ思います

第一に私達學生が自分から何事も模範を示し遊び場とよい環境を守ることにつとめることだと思います、もし學生に犯罪を犯した人があれば学生同志勵まして更生させることとが私達の務めと思います

第二に家庭と学校が協力することです、一般の父兄の方々は先生にお願してあるのだから安心だという考えをもつているようですがこれは大きな間違であると思います、今日の教育は父兄自からが先生の氣持になつて家庭と學校を結び付けることこそ犯罪をなくする唯一の近道だと思います

第三は先輩の方が常に私たちを弟のように可愛がつて、何事も指導し模範となつて下されば小名浜町には犯罪もなくなつて明朗な住みよい町となり淨化されるのではないでしょうか、私たち青少年の毎日の行動を町の人々が見守つてくれることを望んで止みません、私たちの愛する町は私たちの手によつて淨化し一日も早やく明朗な郷土小名濱の町を築きあげ祖國日本から犯罪を消滅させたいと心から願つている次第です

毎度有難う御座います
この度資金回收の爲良心的に勉强致します
特に大口契約は御相談に應じます
杉長尺　丸太
建具材及家具材
堅木類（カタギ）及桶屋材
一般建築材特に杉板類豊富
都合により當分の間江名賣場休業致しますから小名浜賣場に御注文下さい。御届け致します
昭和二十六年六月十日
石城郡上遠野村根岸字白幡三十七番地
井澤林産企業組合　井澤製材所　電話二一〇番
石城郡小名浜町新川十四番地　販賣所　電話一〇四番
石城郡江名町中之作江ノ浦　販賣所　電話三四七番

あらゆる競争!!
運動、勉强、事務、労働
ツカレをハネ返す
活力剤　ポリグロン（三〇〇円）
ダルマ薬局
小名浜町本町　電二二三番

絶對に大漁を約束する
昭和電機の
自動電壓調整器
代理店　興洋電氣
小名浜町古港（電四五七）

左記書籍譲り受けたし
諸根樟一　磐城文化史
同　室櫻關先生傳
湯本喜作　福島縣の三大歌人
姓名在社　湯本支局　電話三〇二番

夏の味覺と榮養!!
蒲燒・うな丼・お重辨当!!
新鮮　生壽司（材料豊富）
割烹仕出し　金時
小名浜驛前　電話一二八番

縣下農協に活を入れる 幹部大會を開催

農協再建整備法を検討

農村經濟逼迫と運營方法の欠陥は國の農協を途端の苦境に押込み、潰滅に瀕する農協の前途に薇い難き暗影を投じている折柄政府は遂に農協再建整備法を、今次國會で通過せしめた、縣教育指導農協連合會では、この主旨を徹底普及氣息エン〜たる縣下農協に活を入れ農協組織の整備強化を計るため去る十五日午前九時から縣農協講習所に縣下各農協の幹部を集め、縣農協大会を開催、次の如き農協振興の根本事項を檢討熟議した

一、農協振興刷新運動の展開
二、第三次農家資金對策運動促進
三、自由經濟に対處する販賣態勢の確立
四、肥料確保に伴う諸經費の國庫助成
五、農村醫療保健施設の整備
六、農村工業の振興策
七、農協課税の撤廢
八、農協再建整備法による縣費助成
九、市町村自治体との連携強化
十、農協の組織整備強化

水量に惠まれて

今年の田植は急テンポ

水量に惠まれて小名浜鹿島地區一円の本年度田植は十三日より順調に辷り出した、鹿島村に於ては御代附近はすでに過半數を植付完了船戸の山間部も殆んど完全植付終了の形、藏持地區も三分の一終了、一方小名浜方部も原木田、岡小名方部はすでに續々植付を開始したが、本年は水量が豊かであつた点と、苗の發育が極めて順調であつたゝめ植付完了は例年に比し相當日數が早くなるものと見られている

賞與を要求

常磐炭礦勞組では去る八日から引續き經營協議会で上半期の期末賞與要求について事務折衝を行つていたが、十三日午后一時から團体交渉に入り六月分特別賞與として十萬トン以上出炭した場合一人当り千圓を支給することになつた

なお要求案は十月から三月までの總收入の一割を支給せよというものであり、これによると一人當り六千圓平均になる

夏枯れの商店街

“ホク〜は”「パチンコ屋」

一般商店界の夏枯れどぎ、各商店はおの〜秘策を練つて嶄新な販賣法に頭を惱ましているが、どうにか採算が立つているのは八百屋さん位のもので、これとて新入荷の西瓜など夏の味覺を徵發してはいるが、ハンドボールに毛の生えた位の奴が二百圓も二百五十圓もするので、一向に買い手がなく、新鮮な蔓も青く萎んでゆくばかり

※　※

雜誌、書店では農繁期を迎えたゝめ、農山村方部よりの購買力がパツタリ停止、ミイチヤンはアちやん連の映畫雜誌がどうにか平常の賣行きを維持しているのみで、文藝物も、經濟誌もこのところ賣行が惡るい、只例外は雨の日に比較的賣行きがよいとの話

※

清酒が安くなつて、農村でドブを密造しなくなつたので僅かに賣行きのよいのはお酒屋さん位のもの、田植の疲れに一パイから、料亭へのビールが季節柄相當ハケ、最近はオーシヤン、トリス等大衆向ウヰスキーが相當出る

※　※

一番景氣のよいのはパチンコ屋、お天氣でも、雨が降つても、この店だけは超滿員、ガツチヤン、ガツチヤン、コツトンと夥しい騷音に明け暮れて現金が毎日數千円宛どの店も飛び込む由

湯本町署で表彰

川井、七海部長外九名

湯本町署ではこの程犯人逮捕に優秀な成績をおさめた次の署員十一名を表彰した

川井、七海部長ら九名は去月中湯本礦四、六坑に發生した金へんどろ、被害總額五十数萬圓、また同町天王崎九頭見洋品店の衣類どろ逮捕に功があつた

藁谷部長、原田巡査はそれ〜現任教養で縣警察學校成績が最優秀で優等賞を得た

捕賊賞

川井亮、七海兵己、中澤三郎、鈴木泰三、武藤博、大場純義、新妻三郎、桑原賢智、篠原秋雄

努力賞

第八期生藁谷久四郎

第七期生原田孝雄

めじ鮪に活氣つく

三善丸南方より入港

十三日一万五千貫のめじまぐろ水揚に引續き十四日夜より十五日早朝にかけ再びめじまぐろ二五萬千貫外待望の鰹一千貫外中羽まいわし三千貫等がドツト小名浜魚市場に水揚げされ、濱はこのため大盛況を呈し市場從業員も撤夜にてこの處理に當たる等嬉しい悲鳴を擧げている

めじまぐろは十三日と同樣請戸沖合が漁場で共德丸三千貫、勝丸千八百貫天榮丸五千貫、その他岩手廻船の兼神丸六千貫、海鳳丸四千貫等で約二万五千貫、單價は五十円程度下落し貫百六十円から百八十三圓というところ又南方漁場よりは三善丸が久し振りの鰹一千貫と、ビン長五千貫を積込み十四日夜入港、めじまぐろかつをは增產農家への一役を買つて縣内中通地區富山縣方面に陸送され田植期の農家の御馳走となりビン長は輸出向けとして東京へ又小名濱港外二三哩にて中羽まいわしを中アグリ五ヶ統にて約三千貫を漁獲貫当り二百六十円―二百六十五円の高値を呼び直ちに東京方面に出荷される等計七百万円の賣上を示めした

湯本信組の発起人會

湯本町信用組合發起人會は來る十八日午前九時から全町公民館會議室に於て結成準備計画案の内容を再審議することになつた

湯本商工會

準備に乘出す

湯本町商工業者は相互の親睦を闘つて經濟振興の促進、經營の改善を計るため十二日午前十時から後場会議室にて商工会結成準備会を開いた

仲人を依頼されて强かん

湯本町高倉磐崎礦採炭夫三瓶好次（三〇）は六月上旬結婚のために仲介人を頼みに來た同町寶海無職某女（二一）を甘言を以て同地山林内に連れ込み强姦した外全治一週間の裂傷を與えた疑いでこの程湯本署から身柄送檢

明朗活達なバス孃

サービスの改善に專念

全國屈指の交通網と多数の從業員を特ち八〇台の優秀車を保有縣南の一市三十ヶ町村に及ぶ卅萬人の足となつて郡下山間僻地何處の奥地にもスマートな姿で疾驅する常磐交通のバスは今は全く郡民の生活の中にとけこみ結び付いて一層の親しさを感じさせている、此處平市東北配電會社の側にある女子寮とそこれ等郡下山村漁村の隅々まで運行する明るい白と空色に塗つたボデーの中に一日中「ストツプ」「オーライ」と立ち働らく彼女達の宿舎なのである、美しいなじみ深い聲で「お待ち遠さまでした、只今發車でございます」と言ひつゝ偶々「皆樣ゆれますからしばらく御辛棒願います」等と何くれとなく旅の無聊を慰め乍らサービスしてくれるバス孃の一日中立ち續けの疲れを休めて明日の新らしい出發に精神を養う唯一の宿舎である、この女子寮の寮長斎藤雪子（二〇）さんに二十四時間の中、客に接しない半面の生活を打診して見よう

女子寮の人達は月一回定期研究会を開きお客さんのサービスに付いて研究し直ちに建設的意見は纒めて實行に移して行く方法をとつて居り又一方女性としての修養も身につける爲修養に關する色々の催し物には進んで參加する樣努めて居り其他女性としての生き方に付いても寮長を中心としてセツサタクマしていることは朝五時から夕刻六時までの職業を待つ彼女達の一日の半分をとうして私的生活に割当て、伸びて行きつゝある

國警一本化は反對

社黨方針を小名も堅持

去十三日來町した日本社会黨總ム部長松井政吉氏は同黨小名浜支部長小野幸次郎氏と打合せをしたが、江名、豊間兩町の支部は來る七月二十日行なわれる農業委員選擧後結成する事になつた、なお兩者会談の結果、小名浜支部としては現行自治体警察の國警一本化に對する反對運動として黨利黨略に利用される恐れのある中央集權的國警一本化の排撃と現自治警察に対する批判並びに反省に闘し其存續的立場から民主的な線を打ち出す事となる模樣である

眠病を苦に飛込み自殺

十三日午前七時半刻植田町石塚地内常磐線下り二二三列車植田發七時二十一分が進行中小名浜町汐留無職阿部正男（二二）君は眼病で失明したのを苦にして投身自殺を遂げた、阿部君は昨年の十一月十一日も植田町某旅館にてアドルム自殺を計つたが女中に發見され未遂に終つたもの

湯本で疫痢

湯本町高倉九、斎正治（二）さんは十三日疫痢と決定即日融離した

炭礦の庭球大會を開催

平石炭事ム所管内体育連盟主催炭礦庭球大会は十六日午前八時から湯本町寶海常磐コートで開催、參加チームは五礦十二チームである

燒玉機關の工場診斷

（既報）縣下内然機製作所にたいする海運局、縣共催の燒玉機關製作の工場診斷は昨十五日より小名浜町三洋鐵工所を最初として各工場二日宛にて小名浜、江名、四ツ倉の各工場で實施される

この工場診斷は政府の補助により設立されている經濟能率研究所＝所長田中要人氏外縣係員一名が當り經營の合理化に關する指導を爲すものである

魚菜市況 15

（小名浜中央青果市場）玉な三七〜五〇、むき豆一〇〇〜一二〇、きうり一〇〇〜一四〇、大根三〇〜四〇、さやまめ八〇〜一一〇、馬鈴薯三八〜五〇、筍二五〇、人參一把四〜一五、にら三、五〇、玉ねぎ三六〜四〇、グリンピース二九五〜三〇〇、なたまめ三〇〇、玉子九、五〇、なす一個四〜五、ほーれん草四〜四、五〇、かぶ五五、（魚市場）小たこ八〇〜一一三、水たら四〇、さめさ四〇、ぎす六五、なめた一二〇、えび四〇〇〜四五〇、いか一八〇いわし二一〇、もち二五〇、平目四〇〇〜四五〇ぶり二五〇、ます一一〇〇、たい五二〇、めか五〇〇、

天氣概況

北東の風くもり時々雨

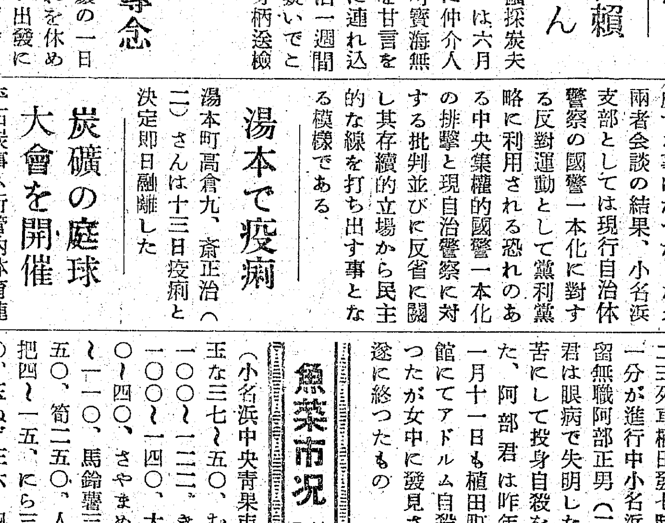
（海上）北東の風稍强し時化氣味で見透しが惡いですから漁船は注意

又も放つ総天然色の
絢爛たる豪華版
堂々上映!!

「千一夜物語」「海の征服者」「海賊バラクーダ」を越える享樂と大冒險活劇のスリル!!

バグダツトは西洋と東洋の文化を吸つて咲き香る、妖艶なバグダツトの町と、朝夕不思議な表情をたたえる無限の砂漠を、恐怖と闘爭、情熱と冒險に色どつた奇怪なエキゾチツクな物語!!

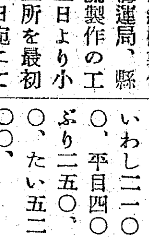
16日――18日
（3日間）
磐城座


バグダツド
五色の砂塵りを卷く怪盗團の襲撃!
七彩の焔をあげる熱砂の戀!!
モーリーン・オハラ
ポール・クリスチャン
主演
ユニヴァーサル特作
絢爛總天然色
BAGDAD

建築材
建具材
販賣

常磐木材株式會社
小名浜販賣所
小名浜町第二小学校前
電話三五八番

新案特許
東和カマド
珪藻土製品の最高峰!!
驚く程燃料のいらない
火力强大!
保温絶大!
時間經濟!
簡便重寶!

浜三郡發賣元
榮屋商店
小名浜町古港
電話三番